



災害関連緊急砂防事業等の地元周知に係る取組①

(東部建設事務所三原支所 災害関連緊急対策チーム)

東部建設事務所三原支所災害関連緊急対策チームでは、平成30年7月豪雨に係る災害関連緊急事業において、県民へ事業内容および進捗状況を周知するよう取り組んでいます。様々な手法で地域の方々とコミュニケーションを図り、円滑に事業を推進し早期の復旧復興を目指します。

具体的な取組内容①

【地元回覧文を作成】

各事業箇所では回覧文を作成し、現在の進捗状況や出水期への注意喚起を行いました。また、地元の方々が集まる場所に掲示していただきました。



(表面) (裏面)

図1 地元回覧文(例)



写真1 掲示状況(公民館, 掲示板)

具体的な取組内容②

【ホームページを作成】

広島県や施工業者のHP内に特設ページを作成し、業務内容や事業進捗状況を定期的に更新しています。また、えん堤工事が概成したときは随時お知らせを掲載するようにしています。

災害関連緊急対策チームのホームページ

三原支所 災害関連

検索



図2 HP公開状況(左:広島県, 右:施工業者)

具体的な取組内容③

【公共施設における資料展示】

事務所玄関ホールにブースを設けて来庁者へ情報発信しています。また、土砂災害防止月間(6月)では、各市町と連携したパネル展示において災害関連緊急事業の資料を展示しました。



写真2 事務所内



写真3 展示物(3D模型)



写真4 尾道市向島支所



写真5 三原市本郷障害学習C



災害関連緊急砂防事業等の地元周知に係る取組②

(東部建設事務所三原支所 災害関連緊急対策チーム)

具体的な取組内容④

【工事着手時の安全祈願】

施工業者と連携し、工事着手前の安全祈願を行いました。地域の方々にも出席をいただき、被災地域の復興および砂防工事が無事完了することを祈願しました。



写真6 祈願状況

具体的な取組内容⑤

【防災教育の実施】

地元の小学生を対象に、砂防出前講座を行いました。講義形式で土砂災害や防災知識を学習し、砂防堰堤の建設現場を見学をすることで土木事業へ関心を持ってもらいました。



写真7 講義状況



写真8 模型実験(土石流)



写真9 テレビ報道状況

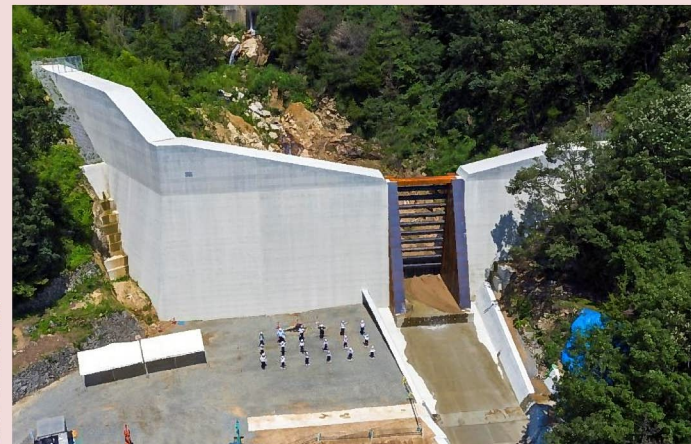


写真10 現場見学状況(ドローンによる記念撮影)

具体的な取組内容⑥

【工事完了の報告】

工事が完成した事業箇所については、地元町内会へ完成の案内を回覧しました。また、地域にある砂防施設への理解を深め、被災経験を次世代に伝承していくことを目的として「砂防ダムカード」を作成し回覧文と併せて配布しました。

西福地川 砂防えん堤の完成について

西福地川の砂防えん堤が完成しました

水害防止

緊急砂防事業の流れ

西福地川 災害関連緊急砂防事業

西福地川 砂防えん堤の構造

広島県の防災情報



災別砂防 No.08

OpSICO

SABO - DATA

所在地: 広島県三原市木原六丁目
砂防研究地: 西福地川
型式: バックレス型砂防堰堤
堤頂長: 88m
堤高: 14.5m
管理者: 広島県
竣工/完成: 平成31年(2019年) / 令和2年(2020年)

基本情報

平成30年7月豪雨により、西福地川では大規模な土砂災害が発生し、多くの家屋に被害がもたらされました。広島県では、災害発生時の緊急対応により緊急工事と併行し令和2年4月に完成しました。ダムサイトからは県内の多発地帯を把握することが出来ます。

こだわりの技術

広島県治験部等が河川から選定がなされたため、選定試験結果からより新砂量21.33mmを確保しました。14日600型スリットは水干砂材を篩選できるため、土質組成別の最良篩目にも有利な構造です。

図3 完成案内

図4 砂防ダムカード